

保健福祉局こころの健康増進センターにおける 平成 28 年度 of 取組状況及び平成 29 年度 of 取組予定

こころの健康増進センターとは：法律によって都道府県及び政令指定都市に設置が定められている精神保健福祉センター。精神保健及び精神障害者の福祉に関する知識の普及，調査研究，並びに相談等を行う。

1. 知識の普及

・内閣府事業「アルコール関連問題啓発フォーラム」

例年は「アルコールと健康を考えるセミナー」を開催していたが，平成 28 年度はアルコール関連問題啓発週間の取り組みとして標記フォーラムを開催。第 1 部は「アルコール関連問題について学ぼう」として「アルコールの基本的知識について」をテーマに岡山県精神科医療センター角南隆史医師の講演，アルコール依存症当事者からのメッセージ，「ぼくのこと忘れてしもたん？ーお父さんはアルコール依存症ー京都 Ver」絵本朗読，第 2 部はパネルディスカッションとして，「飲んでも飲まなくても良い社会の実現を目指して」をテーマに，アルコール体質パッチテスト（京都市こころの健康増進センター波床将材所長），飲酒チェックツール『SNAPPY-CAT』について（岡山県精神科医療センター角南隆史医師），ミニレクチャー「アルコールとうまく付き合うコツ」（刈谷病院大野佳枝臨床心理士）の各講義の後，意見交換を実施。参加者 120 名。（平成 29 年度は，例年通り，一般市民への啓発や関係機関職員への研修を目的として，京都府及び NPO 法人京都府断酒連合会との共催で「アルコールと健康を考えるセミナー」開催予定）

・こころここ

年 2 回発行の機関紙。こころここ No.40（平成 28 年 3 月発行）では「ハタチになったら知っておきたい アルコールとの上手な付き合い方」をテーマに，交通局及び京都学園大学とのコラボ企画として「太秦その」と「太秦麗」を登場させ，二人のやりとりを通してアルコール・ハラスメントへの対処法やリスクの少ない飲酒量等について紹介。今年度は同内容を広く普及するため，お酒の飲み方チェックの記事を追加したものを特集号として増刷し（平成 28 年 10 月発行），広く配架周知を実施。

・マンガで解説 アルコール依存症

不定期発行の小冊子。当該冊子は平成 25 年 3 月発行，現在配布中。アルコール依存症やその治療について解説。（平成 29 年度も配布継続）

・図書館テーマ展示事業「お酒を読もう」

今年度からの取り組み。アルコール関連問題啓発週間（11月10日～16日）に合わせて、図書館を利用する市民に対して、アルコールへの関心を高め、アルコールとの上手な付き合い方を学んでいただくことを目的とし、関連の図書やパネルの展示、パンフレット配布等の普及啓発を行う。市内14図書館にて実施。

・HP や Facebook 上での啓発

依存症に関する話題や講演会等のイベントの周知などを実施。（今後も随時、取り上げていく）



2. 相談・診察（アルコールに関することを主としたもの）（平成28年12月まで集計分）

- ・電話相談（2回線）延90件/4,648件 【27年度：延119件/5,962件】
- ・相談員による相談 延29件/206件 【27年度：延18件/307件】
- ・専門外来等での相談・診察 延27件/135件 【27年度：延24件/203件】

3. アルコール依存症者（疑い含む）の家族のための勉強・交流会

- ・家族ミーティング（月1回） 延25名/全4回 【27年度：延63名/全9回】
- ・アルコール・薬物問題に悩む家族への支援プログラム（月1回）
延40名/全6回中5回実施【今年度からの取り組み】

（平成29年度は、「アルコール・薬物問題に悩む家族への支援プログラム」を、月1回（全10回）で実施予定）

以上